

# あかね雲

2023.03.31

NO.184



雲南市 / 段部の枝垂れ桜

## CONTENTS

- ◆令和4年度  
看護管理者研修会……………P1
- ◆令和4年度  
助産師出向支援事業報告会……………P1
- ◆支部活動報告……………P2
- ◆看護管理者教育課程修了式……………P3
- ◆訪問看護師養成講習会修了式……………P3
- ◆訪問看護ステーション出向研修事業報告…P4
- ◆島根県看護協会の動き……………P4
- ◆ナースセンターだより……………P5.6
- ◆お知らせ……………P7



令和  
4年度

## 「看護管理者研修会」を開催しました

～日本看護協会長 福井トシ子会長をお招きして～

専務理事 池田康枝



福井会長

令和5年3月25日(土)、出雲医療看護専門学校において看護管理者および看護責任者等を対象に「看護管理者研修会」を開催しました。会場参加・ZOOM参加あわせておよそ90名の参加者がありました。「公的価格評価検討委員会」において国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表の見直しが行われ、看護職の処遇改善に向けた大きな一歩となる快挙となりました。このような状況の中、日本看護協会長 福井トシ子氏をお招きし、看護を取り巻く社会の変化と看護協会の取り組みや看護専門職として向かうべき方向、やりがいをもって働くことはどういうことか等についてご講演いただきました。テーマは「看護職員の処遇改善と看護管理者の役割」でした。「やりがいのある看護って何なの?見合った評価をもらっているの?」と口火を切り、福井会長の迫力あるご講演が始まりました。日本は2040年を見据えた対応へと変化してい

る。看護職が医療の視点と生活の質の視点を持っていることは強みであり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成にむけて強化していく必要があると強く訴えられました。また、看護職の処遇改善について詳しく説明され、自施設の組織運営を考えるよい機会となりました。満足度は非常に高く、福井会長のご講演を聴いて「これからも頑張ろう!」と前向きになれた、生の声を聴けてパワーをもらったという多数の声がありました。また、隠岐や益田地区からはWEB対応だと参集より多くの人に参加してもらえるので企画運営の点で良かったという声がかれました。活があり有意義な研修会となりました。今後も、看護管理者の皆さまと顔が見える関係で島根の看護について一緒に考える機会をつくってきたいと思います。



会場の様子

令和  
4年度

## 「助産師出向支援事業報告会」を開催しました

～本事業の8年間の歩みと今後に向けて～

専務理事 池田康枝

令和5年3月25日(土)出雲医療看護専門学校において助産師出向支援事業報告会を開催しました。会場参加者40名・ZOOM参加施設3施設でした。地域における助産師の遍在是正や助産師実践能力の強化等を目的に本事業を実施しています。新型コロナウイルス感染拡大の中、分娩取り扱い施設の施設管理者および看護管理者の皆さまのご理解を得ながら実施いたしました。今年度は4組のマッチングがありましたが、感染拡大の影響で3組の出向実施となりました。出向助産師の下垣 葵さん(島根大学医学部附属病院)、稲垣 彩さん(県立中央病院)、伊藤千晶さん(松江赤十字病院)からそれぞれ出向報告がありました。経験や出向期間は違いますが、出向での学びや課題を明確にされ有意義な出向であったことが報告されました。出向で得られた経験や自信が今後に生かされることを期待しています。その後、秦会長から、今年度日本看護協会看護学会交流会で発表した本事業の8年間のまとめを報告されました。続いて、島根県医療統括監の谷口栄作氏により島根県の周産期にかかる現状

と課題をご講演いただきました。本県における周産期医療の現状と課題を共有し、本事業を活用した取り組みに繋がりたいと思います。最後に、助産師である日本看護協会長 福井トシ子氏により、「産み育てやすい環境の整備 -妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制構築-」というテーマでご講演をいただきました。参加者の満足度は非常に高く、「福井会長の話聴きモチベーションが上がった、内容が充実しており学びの多い報告会だった、自施設や助産師の役割について考える機会となった、出向の目的や仕組みがよくわかった、看護管理者が現状を正しく理解することが大切であると自覚した」など多くの声を寄せていただきました。島根で貢献する助産師にエールをいただくと同時に、施設看護管理者にとっても島根のお産を守る覚悟を固める良い機会となりました。



福井会長



下垣葵さん



稲垣彩さん



伊藤千晶さん



秦 会長

# 支部活動報告

## コロナ禍での支部活動

雲南支部理事 藤原千登勢

近年は新型コロナウイルス感染症と向き合いながらの活動が続いています。そのような中で会員からの要望も多かったリフレッシュ研修会を企画しましたが、感染症拡大により残念ながら中止となりました。まちの保健室においても、ここ近年イベントが中止となり、行うことができない状況が続いていましたがどうにか、違うかたちで開催できないかと考え、今年度は、圏域内スーパーの店舗の一部をお借りして「まちの保健室」を開催することができました。感染対策をしっかりと行ったうえで地域の皆さんとの交流を図ることができ大変うれしく思いました。そして、支部活動にも興味を持っていただくことができました。皆さんの健康に対する意識の高さに関心するとともに、こういった活動を通して情報提供をすることの大切さを感じました。私たちの活動が、皆さんの関心をさらに高めるきっかけになればよいと思います。

今後もWithコロナで感染対策を講しながら、進学ガイダンスへの参加や研修会など計画していきたいと思います。支部活動を通して会員同士の交流の場が増えるといいと思います。会員の皆様のご意見を参考に支部活動が充実したものになるよう取り組んでいきたいです。



## ～人と心と行動を快適にするための「交流分析」研修を開催～

浜田支部理事 佐々木 亜弥

今年度も新型コロナウイルス感染症と向き合いながら支部活動を行ってきました。今回の研修企画は感染対策等さまざまな制約が生じる中で、人とのコミュニケーションに悩む自分をどうにかしたいという会員皆様の意見から交流分析を学ぶ事にしました。研修会はハイブリッド方式で、日本交流分析協会交流分析士准教授 加納美代子氏より、自分の心の成り立ちを知る「エゴグラム」や他者とのコミュニケーション場面での自分の交流パターンを振り返る体験を含めた講義を受けました。研修後アンケートから「自分の傾向を知ることが出来た」「エゴグラムの演習は自分を俯瞰することが出来た。意識して行動を変えてみることで、組織の中で自分も自信が持てるようになった」など自分を振り返る前向きな意見があり、満足度の高い研修となりました。

地域の看護を支えるためには看護職が元気で働き続けられる事は大切な事です。

今後も看護を取り巻く課題解決が出来るように意識し、会員が興味を持って参加出来るような支部活動に努めていきたいと思います。



## 大田支部活動報告

大田支部理事 林 清子

今年度も新型コロナウイルス感染症の動向を常に気にしながらの支部活動となりました。

それでも年度前半は、支部総会、「あすてらすフェスティバル2022」でのがん検診パネル展示等行うことができました。中でも、島根県ナースセンターの協力の下で行った管内2高校での進学ガイダンス・看護体験では、生徒のみなさんから「看護の仕事は病院だけでなく、訪問看護の現場や保健師や助産師の仕事など、いろいろな場所で活躍できるのだとわかった」「やりがいのある仕事なのだ実感した」「認定看護師や専門看護師の仕事についても調べて、看護師としてどのように社会貢献できるかを考えていきたい」等の感想をいただき、とても心強くなると感じました。しかし、夏以降は管内での流行が拡大し、予定していた研修会も実施方法についてその都度何回も検討しましたが、残念ながら開催には至りませんでした。役員同士でいろいろと提案や相談することで、つながりも強くなったと感じた1年でもありました。

来年度は、様々な支部活動をとおして、会員同士の学び合いや楽しい交流ができる年にしていきたいと思います。



## 益田支部の令和4年

益田支部理事 重岡功治

支部長の任を仰せつかって2年目の年。今年度はどのような活動ができるのかをあれやこれやと思案しながらのスタートでした。

6月の支部総会は新旧役員のみで開催し、同日にZOOMを用いた研修会を行ないました。それ以後、益田圏域も新型コロナ感染第7波に襲われ、圏域で就労する看護職者の多くが仕事を休まなければならない状態になりました。島根県内全域で同じような状態となり、皆が苦しみ、耐え抜いたことと思います。このような状況により、支部役員が集まることも難しく、役員会の開催もできないまま時間が過ぎてしまいました。

一方、益田市では昨年度と同様に、健康ますだ市21フェスティバルが事前申込み制で開催されました。市からの依頼を受けて、まちの保健室を開設し、来場者の血圧測定の実施や健康手帳の配布を行ないました。私たちは来場者のうち70名ほどの方々と関わりましたが、地域住民の方々の健康に対する関心が年々高まっていると感じました。

今後も微力ながら地域で暮らす人たちの健康増進に関わっていけたらと思います。



# 看護管理者教育課程修了式

専任教員 福田里子

昨年度は、COVID-19蔓延のため、看護管理者教育課程における実践発表会及び修了式がやむなく中止となりましたが、今年度はセカンドレベル・ファーストレベル共に開催することができました。実践発表を通じては、課題解決の糸口を発見し次の実践につなぐ方向性を見出す有意義な場となっていました。発表会にご出席頂いた看護管理者の方々からは実践への承認や励ましの言葉を頂きました。また、所属の看護管理者の方々からは多くの心温まるメッセージを届けていただきました。受講生の皆様方の晴れやかな表情がとても印象的でした。本教育課程の学びを実践に活かし、今後さらにご活躍されることをお祈りいたします。

## セカンドレベル修了式



## ファーストレベル修了式



# 訪問看護師養成講習会が終了しました

訪問看護担当 栗谷とし子

期間：5月17日～12月21日 修了者：20名

コロナ禍の荒波の中、5月に訪問看護師養成講習会がスタートしました。訪問看護eラーニング(5か月間)、訪問看護ステーション実習(3日間)、集合研修(7日間)のプログラムに熱心に取り組まれました。第8波により最終日のレポート発表会・修了式は中止となりましたが、素晴らしいレポートにまとめられ、学びと想いを深く共有できたことと思います。

受講生の皆様のそれぞれの場での活躍を期待しています。

また、実習を受け入れてくださった訪問看護ステーション、ご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

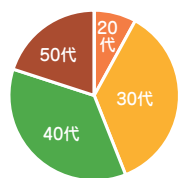


交流会で自己紹介。ワクワク&ドキキ

どんな人が受講しているのですか？

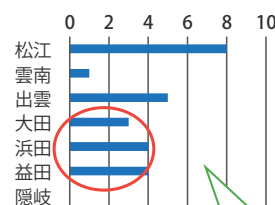


### 年齢



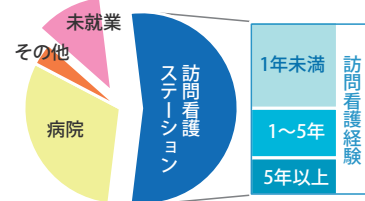
若い世代が増えてます。セカンドキャリア・プラチナナースの方も大歓迎です。

### 居住地域



県西部からも増えています。集合研修は2日連続なので、松江に宿泊してリフレッシュされる方も。

### 就業状況



訪問看護ステーションの方が約半数を占めますが、病院からも3割と多く受講されています。未就業だった方は皆さん訪問看護に就業が決まりました!

# 訪問看護ステーション出向研修事業

常任理事 原 徳子

島根県看護協会では、島根県の委託を受け2018年から「訪問看護ステーション出向研修事業」を実施しています。本事業は出向元の病院と出向先の訪問看護ステーションの間で契約を結び、病院看護師が病院に在籍のまま訪問看護ステーションへ一定期間研修に行く事業です。過去5年間の実際を以下にまとめました。

## 1. 出向の実際(2018年～2022年)

実施年度	2018年度 (モデル事業)	2019年度 (県委託事業1年目)	2020年度 (2年目)	2021年度 (3年目)	2022年度 (4年目)
地域	松江(県東部)	松江・安来・出雲(県東部)	出雲・浜田(県西部)	松江・出雲	出雲・松江・隠岐
施設数	2施設	4施設	2施設	3施設	3施設
出向期間	3か月(1施設) 6か月(1施設)	3か月(3施設) 17か月(1施設) (前年度からの継続)	3か月(2施設)	2か月(1施設) 3か月(2施設)	2か月(2施設) 3か月(1施設)

## 2. 令和4年度訪問看護関連事業報告会(Zoomミーティング)を開催しました。

**実施日** 令和5年3月11日(土) 13時00分～15時30分

**内容** 令和4年度参加の3組からの報告をいただきました。

**結果** 参加3施設の出向看護師・出向先指導看護師・出向元管理者から報告がありました。



**出向看護師からは**

- ①患者さんが退院後、生活者として地域で過ごすための視点を学ぶことができた。
- ②地域の様々な機関や連携をみることで、多職種が在宅での生活を支えていることが理解できた。

**指導看護師からは**

- ①出向看護師の学びにステーションスタッフも刺激を受け、改めて訪問看護の奥深さや難しさを感じる事ができた。
- ②ステーションでの研修会を開催するなど、出向看護師のキャリアを還元してもらった。

**出向元管理者からは**

- ①連携先が必要とする情報の発信、退院後の情報収集と部署へのフィードバックを通し地域との連携強化につながる。
- ②事業に参加したことで、地域包括ケア推進に向けて在宅支援の組織的な取り組みにつながった。

以上のような報告から本事業は出向元・出向先ともにメリットがあり有意義な研修となったと考えます。

## 3. 今後に向けて

本事業に参加した出向看護師は研修の学びを活かしそれぞれの施設において訪問看護や退院支援や地域連携に関り地域との連携強化に役割を発揮しておられます。まずは、本事業に参加希望の病院に手挙げをいただき、その病院の圏域で連携のある訪問看護ステーションとのマッチングを図っていただけるとよいと思います。今後は、県西部での参加を促進したいと考えます。本事業の趣旨をご理解いただき多くの施設の参加をよろしくお願いいたします。

## 島根県看護協会の動き(2022年度1月・2月)

項目	月日(曜)	実施事項	出席者	場所
護日協本会看	1月24日(火)	看護職員の賃金見直しに関する勉強会	秦会長他	朱鷺会館
	2/20～21	理事会	秦会長	JNAホール
島根県看護協会	2月 3日(金)	ナースセンター運営協議会	秦会長他	出雲ビッグハート
	2月 8日(水)	第6回理事会	秦会長他	看護研修センター
	2月 9日(木)	セカンドレベル修了式・実践報告会	秦会長他	朱鷺会館
	2月15日(水)	ファーストレベル修了式・問題解決実践報告会	秦会長他	出雲市民会館
島根県	1月18日(水)	島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会	永江副会長	県職員会館
	2月10日(金)	しまね働く女性きらめき応援会議	秦会長	ホテル白鳥
その他	1月31日(火)	令和4年度「まつえ『子ども夢☆未来』塾」	安達NC長他	東出雲中学校
	2月22日(水)	カタリバ(ミッションを語り組織の理念とつながる)(WEB)	会長・原理事	看護研修センター



# ナースセンターだより



## ナースセンター 研修報告

### 看護職の勤務環境改善事業研修

2022年12月28日

看護管理者を対象に「看護職の勤務環境改善研修」を実施し、50名の参加がありました。「心理的安全性について」をテーマに、島根県立中央病院副院長 磯和理貴先生に講演していただきました。参加者の満足度は高く、多くの参加者から「わかりやすく、心理的安全性について理解できた」「心理的安全性を大切にする職場風土をどのように作ってあげればよいのか多くのヒントを得ました」「今後活かせる研修だった」などの声が聞かれました。

コロナ禍の中、様々な苦難に立ち向かっている看護管理者が、心理的安全性について理解し、健康で安全な職場づくりに向けて、一歩前に踏み出す力や自信につながる研修会でした。



### プラチナナース研修

2023年1月27日

退職後のライフプランを考えている50歳以上の看護職を対象にプラチナナース研修を実施し、19名の参加がありました。

特定社会保険労務士 村松文治氏の「セカンドキャリアを活かして働くために～年金の理解から～」の講演と交流会では体験発表や意見交換を行いました。参加者からは「年金・保険についてはとても難しい内容だが、丁寧に教えてもらい良かった」「年金受給のポイントについて参考になった」との感想が、また体験談は参加者に好評で、「経験を活かして活躍されているお話、感動しました」「体験発表は自分事として、とても参考になりました」などの声が聞かれました。そろそろ定年退職を迎えるプラチナナースが、自身のライフスタイルに合った今後の働き方を考えるよい機会となりました。



東出雲  
中学校

出前授業

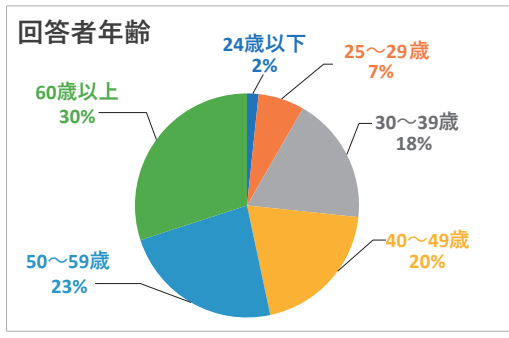


松江市教育委員会にて企画・実施されている、「まつえ『子ども夢☆未来』塾」に島根県ナースセンターも参加し、1月31日東出雲中学校で出前授業を行いました。看護職についてのお話と看護体験（聴診・酸素飽和度測定）をしました。生徒の皆さんが、私たちの話真剣に耳を傾けて下さいました。看護職について、少しでも生徒さんに伝わり、将来の職業に看護職を選択していただけることを願っています。



## 令和4年度 看護職員離職者実態調査(抜粋)

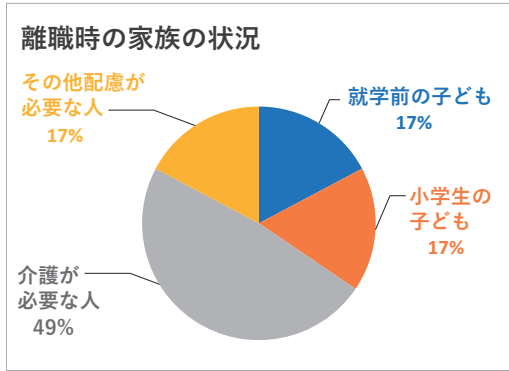
令和3年4月～令和4年3月に離職時の届出登録をされた看護職158名に調査票を郵送し60名から回答を頂きました。(回収率38%)



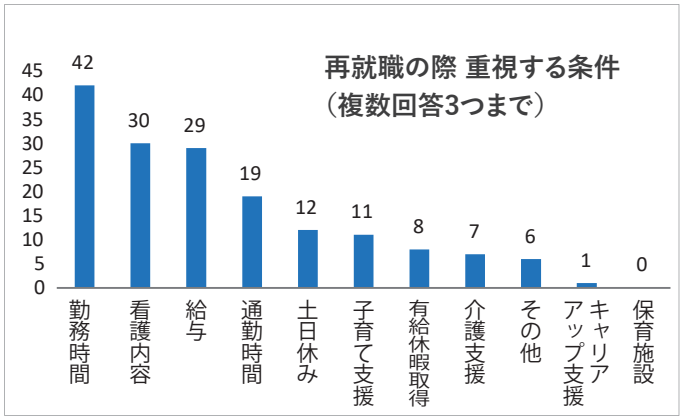
年齢は60歳以上が30%で最も多い。子育て世代とプラチナ世代の退職が多い。

- 退職理由(複数回答3つまで)の上位回答
- 1位 自分の健康(身体的理由)
  - 2位 人間関係(上司・同僚・医師との関係)
  - 3位 親族介護
  - 4位 定年
  - 5位 健康・精神的、医療事故への不安

「自分の健康(身体的)」と回答した割合が昨年度に比べ倍増した。「親族介護」と回答した人が増加し、年代では50代と60代以上が8割以上占めている。回答者の8割弱が複数回答しており、退職理由は1つに限定できず、複数の要因がある。



「介護が必要な人」が49%と最も多かった。昨年度の10%と比べると大幅に増加している。



再就業の最重視する条件は今年も「勤務時間」で、7割を占めていた。

**まとめ** 子育て支援継続に加えて、介護支援を必要とする者が増加しており、介護支援への取り組みが必要である事やプラチナ世代の就業の継続や再就業支援が必要である事が分かりました。ご協力いただきありがとうございました。

## 島根をPRバスが走ります

\*令和4年度使用のPRバスです。→



### 「看護の日・看護週間」令和5年5月9日(火)

**バス走行予定ルート** 県庁前→松江立湖東中学校→出雲市立大津小学校→出雲大社経由→県立大社高校

〈出発式〉

- 10:00～10:30【県庁前】
- ◆主催者挨拶、来賓祝辞
- ◆育英幼稚園つき組さんのダンス・歌
- ◆記念撮影

〈看護の出前授業〉

- 11:00～11:50【松江立湖東中学校】
- 13:30～14:30【出雲市立大津小学校】
- 15:20～16:10【県立大社高等学校】
- ◆看護職からのメッセージ
- 看護師 助産師 保健師



**メインテーマ: “看護の心をみんなの心に”**

中学校・高校生をはじめ、若年層のみなさんに、看護の魅力を伝えることを大きな目的とし、看護の日をPRするラッピングバスが学校を訪ね、看護職が出前授業を行います。

- 主催: 公益社団法人 島根県看護協会
- 後援: 島根県・松江市・出雲市・島根県教育委員会・島根県医師会・島根県社会福祉協議会・日本精神科看護協会島根県支部

■お問い合わせ  
 公益社団法人 島根県看護協会  
 〒690-0049 島根県松江市袖町7-11  
 TEL:0852-25-0330 FAX:0852-25-3157  
 ホームページURL: <https://www.shimane-kango.or.jp>

# 「しまね県 かんごちゃん」

## 新デザインがかわりました

ご希望があれば、データでお渡しますのでご連絡ください。



基本



笑顔



枠上

担当者:池田(専務理事) 春田(総務) TEL:(0852)25-0330 E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp

## お知らせ

### INFORMATION

5/9 火

●9:30~15:30  
「看護の日・看護週間」  
事業PRバス運行

5/25 木

●午後  
日本看護協会通常総会代議員  
・予備代議員説明会

6/17 土

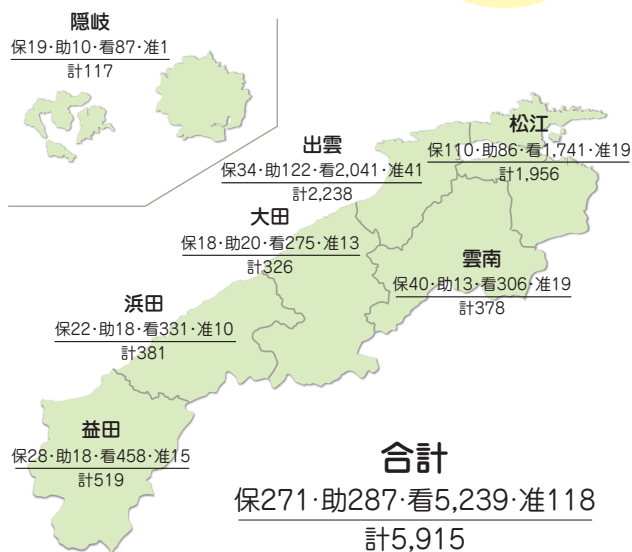
●10:00~12:00  
●ビッグハート出雲周辺施設  
職能別交流集会

6/17 土

●13:30~16:00  
●ビッグハート出雲  
島根看護協会通常総会

## 支部別・職能別会員数(合計)

(令和5年2月26日現在)



## 編集後記

今年の冬は10年に一度の最強寒波ということで、とても寒かったですね。やっと、春の訪れが近づいて来ました。新型コロナウイルスの感染状況も改善し、国会では特別措置法などが可決され2類から5類への引き下げが決定されました。新年度に向け新たな目標に向かって、皆様方が益々ご健勝でご活躍されますことを願っております。

【発行日】令和5年3月31日 【発行責任者】秦 美恵子 【編集】公益社団法人島根県看護協会

〒690-0049 松江市袖師町7-11 TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157

<https://www.shimane-kango.or.jp> E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp

